



# はまみん



第24号  
2023.3

浜松市民生委員児童委員協議会 広報誌



令和4年12月20日（火）にアクトシティ浜松にて「民生委員・児童委員感謝状贈呈式・委嘱状伝達式」が行われました。第1部の感謝状贈呈式・委嘱状伝達式では、厚生労働大臣及び浜松市長からの感謝状と厚生労働大臣からの委嘱状を受け取りました。第2部全体研修会では、「令和時代の民生委員活動」をテーマとされた講演会が、KT福祉研究所 代表 松藤和生 氏を講師に行われました。

**浜松市民生委員児童委員協議会**

〒432-8035 浜松市中区成子町140-8 浜松市社会福祉協議会内

**TEL 053-453-0580 FAX 053-452-9218**

# 会長あいさつ

## 「新時代」の民生委員児童委員協議会運営

浜松市民生委員児童委員協議会 会長 杉山晴康

令和4年12月1日、民生委員・児童委員及び主任児童委員の新たな任期がスタートしました。

浜松市は、定数1,347名、委嘱数1,326名(12月19日現在)充足率98.4%、前期の同時期は97.3%でしたからプラス1.1%です。47都道府県20政令市の中で充足率は6番目、(政令市に限って見ると京都市に次いで2番目)前期からの伸び率はトップです。また、新任委員の数は568名でその割合は42.8%で12番目です。

今回のあいさつのテーマを「新時代」と表しましたが、何が新時代かと申しますと、現在全国では、民生委員の「なり手不足」が叫ばれ、多くの自治体では充足率の低迷が見られる中、浜松市ではご就任頂いた方々の熱意と志により、前述の数値が出たことを「新時代」と捉え、感謝申し上げたいと思うからです。

また、ここに至るには、ご推薦いただいた各自治会長様のお力添えや、「広報はままつ」、「社協だより」で周知いただいた、行政担当課及び社会福祉協議会のご配慮にも依るところが大きかったのではないかと思います。感謝申し上げます。

その後の未選任地区においては、続々と新たなご就任の報を耳にしており、誠に有り難うございます。

本協議会における充足率の高さと新任委員さんの割合の高さは、今後の民児協運営に大きな課題を示されていると考えております。

その第二は、きめ細かに、基礎的な事柄を学べる研修会の実施だと思

います。既に実施している区民児協や地区民児協があるかと思いが、その根底には、統一された認識のもとでの研修が必要かと考えます。

第二には、個々の委員さんの負担軽減を考えた諸事項への配慮かと思えます。煩雑な報告書等の簡便さへの追求、対面会議かWEB会議(ICT活用)が等々、フルタイムで就業されている委員さんへの会議出席のための時間設定等々が考えられます。

第三には、具体的な要支援者への対応の仕方を学べる機会の充実かと思えます。このことは、地区民児協の運営方法も含めた各種会議での内容として、事例検討等の機会をより多くすることで、要支援者への対応力を高めることが出来るのではと思うからです。

さて、ここまででは、組織としての民児協から個々の委員さんへの課題を中心に申し上げましたが、私は逆の事柄にも期待したいと考えております。

それはどのような事柄かと言いますと、「私達、民生委員も地域住民のひとりだ」という視点です。永らく民生委員を務めていると、地域の方々に「何をしたら良いのだろう」と言うような上から目線で物事を考えてしまいがちですが、地域住民としての立場に立ってみたら、「此処はこうあって欲しい、こうあったら良いのに」と言うような発想も出てくるのではないのでしょうか。それを具現化したいと考えております。

ウイズコロナと令和6年1月に迎える行政区の再編を含め、今期の浜松市民児協は、前述したような意味合いでの「新時代」の民児協運営に邁進して参りたいと思えます。委員各位のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

# 市民児協理事紹介

(令和4年12月1日就任)



副会長(天竜区)  
坂井 久司



理事(天竜区)  
柳田 温



理事(北区)  
山下 郁一



理事(北区)  
野末 あけみ



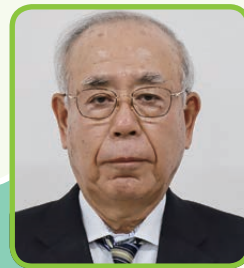
理事(西区)  
柴田 宜克



理事(西区)  
幅 あけみ



副会長(浜北区)  
澤木 達治



理事(浜北区)  
大石 静夫



理事(東区)  
高井 昭



理事(東区)  
名倉 善郎



会長(中区)  
杉山 晴康



理事(中区)  
酒井 里江子



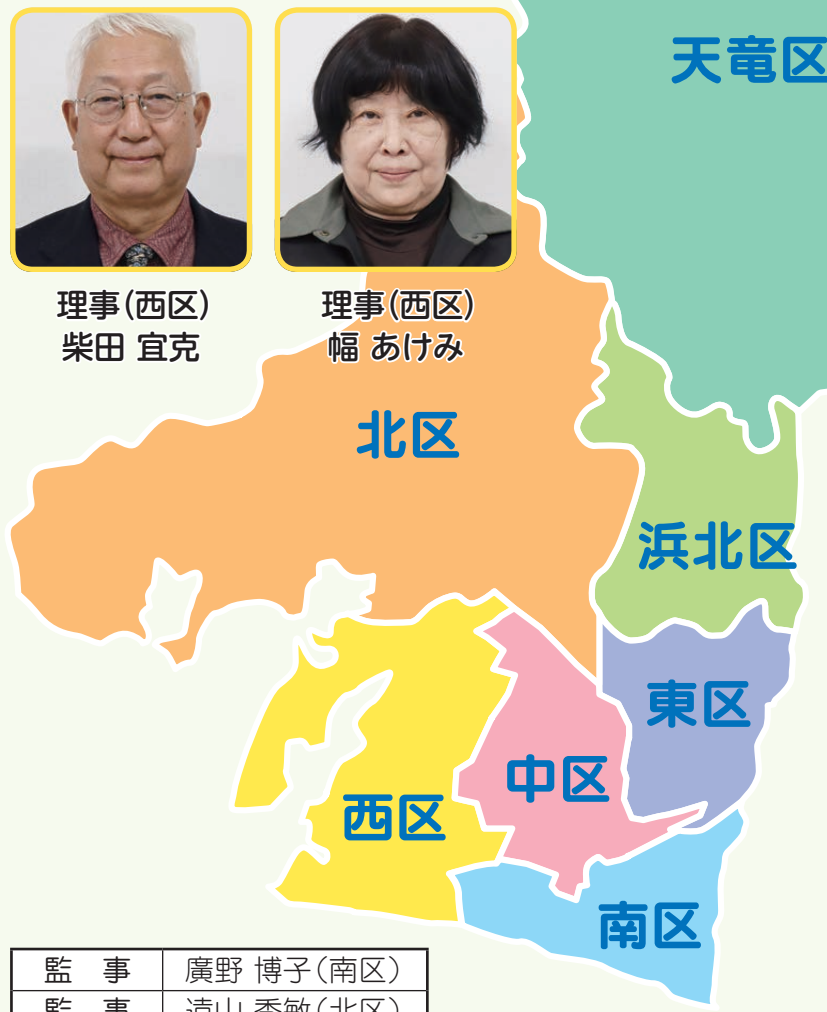
理事(中区)  
内山 丈夫



副会長(南区)  
犬居 和賀代



理事(南区)  
澤根 緑



監 事	廣野 博子(南区)
監 事	遠山 秀敏(北区)

# 新区民児協会長の抱負と方針



中区 会長 杉山 晴康

中区はチームの誰もが役割を持って活躍できる方向性を積極的に提案して、地区会長を中心とした地区民児協の強化を図ります。

同じ地域で生活する者としての視線で、俯瞰して地域を捉えよく話を聴き、経験の引き出しが増えていけば自身の成長にもつながります。そして、安心して暮らせる地域の見守りの輪を丁寧に広げることを目指します。



東区 会長 高井 昭

「自分で自分を助けられない人への支援」  
「共に生きる笑顔の町づくり」をモットーとして高齢者世帯、認知症の人など、自分で自分を助けられない人を発見し、寄り添い、見守り、そして適切に必要な手立てにつなげていくことが、私たち民生委員・児童委員の仕事だと思います。コロナ禍で地域のつながりが希薄になった現在、私たち民生委員・児童委員への期待は高まるばかりです。地域福祉の担い手として、チームとなり一緒に、手を携えてまいります。



西区 会長 柴田 宜克

西区の定数は166名です。今回の改選で74名が新任です。また、8地区中7地区の会長が新しくなり、再任の私が西区会長になりました。即戦力とはいかないと思いますが、地区会長全員が一丸となって当たりますので宜しく願います。皆さんは、地域にとけこみ、信頼を得られる民生委員になってください。わからないことは自分で判断せず、確認を取ってください。



南区 会長 犬居和賀代



昨年12月の一斉改選により南区は新人が約39%、2期目の委員が約26%、3期目以上が約37%という構成となりました。定数の6割が1・2期と経験の浅い委員が多いのが特徴であり大きな課題と捉えています。来年1月の区の再編も踏まえ、7地区の法定地区民児協の連携強化を推進していきます。各委員の抱えている「事例」を地区に留まらず区の問題として取り組む体制を作り上げたいと思います。

委員一人ひとりの特性を活かし「連絡・相談・報告」の基本を軸に地域住民が安心して住み続けることができる地域づくりに取り組めます。

北区 会長 野末あけみ



北区民児協は、中山間地を含む5地区で構成されています。地域性もあり経験値の浅い委員が多く、今回の一斉改選では、159名の内91名が新任委員として受任しました。

少子化、そして高齢化率も高く数々の課題も抱えています。地域の住民が安心して暮らすことが出来るよう、基本的な知識と技術の習得に重点を置き、民生委員の役割を果たせるよう活動していきたいと考えています。

浜北区 会長 澤木 達治

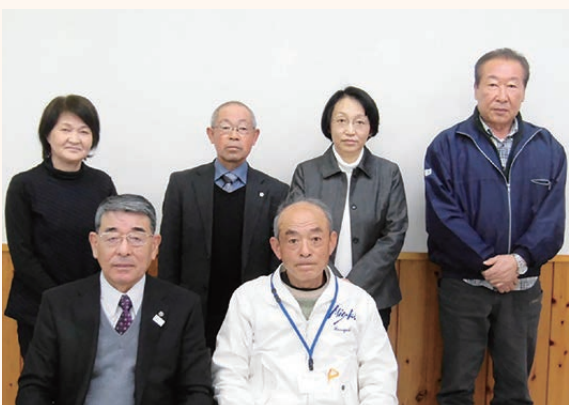


区民児協として各地区民児協の活動がそれぞれ工夫して活発に行われ、かつ区民児協としてベクトルを合わせた活動ができるように協議・検討していくことに努めます。

そして、市民児協の提議についても各地区民児協で間違いなく検討協議されるように運営していきたいと思っています。

また、区の再編に伴う民児協の体制の検討については、民児協内部は勿論、関係各機関との打ち合わせにも積極的に関わっていききたいと思っています。

天竜区 会長 坂井 久司



浜松市全体の6割の面積を有する天竜区を浜松市の人口の3%の人々で守り続ける困難さを感じながらも、1日でも永くこの地に生き続けられることを最大の目標に活動します。

私たち民生委員を必要としない世の中を夢みながら130人の委員全員、それぞれの地域に合った福祉を実現します。

# 地区民児協 会長一覧

## 中区

元城・県居	中村 恵美子
西部	井上 泉
八幡	杉山 晴康
城北南	鈴木 栄里子
城北北	内山 丈夫
江東	酒井 里江子
駅南	中村 覚
江西	仲村 篤子
住吉・和合	牧内 哲次
萩丘中	鈴木 加吉
葵・高丘	伊藤 雅文
曳馬南	中川 恭子
曳馬北	鈴木 秀住
富塚	高橋 則男
佐鳴台	嶋津 歌絵

## 東区

蒲	名倉 善郎
和田	鈴木 三雄
中ノ町	池谷 光夫
笠井	田中 孝
長上	栗田 孝代
積志	高井 昭

## 西区

神久呂	宮澤 俊英
入野	幅 あけみ
篠原	野寄 哲司
伊佐見	古谷 幸美
和地	中村 規子
庄内	柴田 宜克
舞阪	久野 雅之
雄踏	渥美 香由里

## 南区

白脇	内田 めぐ美
芳川北	廣野 博子
芳川南	犬居 和賀代
五島・河輪	藤田 眞弓
飯田	津川 あけみ
新津	澤根 緑
可美	中村 精志

## 北区

初生・三方原	遠山 秀敏
都田	森上 克己
細江	山下 郁一
引佐	野末 あけみ
三ヶ日	竹下 一志

## 浜北区

浜名	晝馬 るみ
北浜第一	大石 静夫
北浜第二	大石 篤郎
中瀬	渥美 由美子
赤佐	佐藤 敏己
鹿玉	澤木 達治

## 天竜区

天竜西	内藤 留美子
天竜東	鈴木 賢一
春野	福島 英明
佐久間	村瀬 純子
水窪	柳田 温
龍山	坂井 久司

**1 コロナ禍にあっても、地域で支援を必要とする人々への見守りや訪問活動を継続し、地域の幅広い関係機関と連携して地域共生社会づくりに取り組みます**

民生委員・児童委員及び主任児童委員はこれまでも地域住民の一員として、住民視点に立ち、さまざまな課題を抱える地域住民の身近な相談相手、見守り役として活動してきました。

現在、地域共生社会の実現に向け、包括的な支援体制の整備や重層的支援体制整備事業への取り組みが進んでいますが、民生委員・児童委員、民児協の活動はこれまでと変わるものではありません。今後も地域においても「支えあう 住みよい社会」を目指して活動することが、地域共生社会づくりにつながります。

**2 民生委員・児童委員が率先して地域の子育て応援団となり、子どもたちが健やかに育ち、子育て家庭が安心して暮らすことができる地域づくりに取り組みます**

子どもの育ちや子育てを取り巻く状況は、少子化や核家族化、地域のつながりの希薄化の進行、共働き家庭の増加等を背景に、さまざまな課題が顕在化してきています。乳幼児とふれあう経験が乏しいまま親になる人が増えてきている一方で、身近な人々から子育てに対する協力や助言を得られにくい状況に置かれている家庭が多いことなども指摘されています。虐待事件など依然深刻な状況にある児童虐待に加えて、ひきこもりや不登校、いじめ、子どもの貧困等、社会全体として対応していくべき子どもをめぐる課題は多岐に渡っています。

こうした状況の中、民生委員・児童委員及び主任児童委員には、住民の最も身近な相談相手として、地域住民や関係機関・団体と一層の連携を図りながら、子どもや子育て家庭の支援に取り組んでいくことが期待されています。

**3 平常時から災害に備えた地域づくりに協力します**

民生委員・児童委員は災害対応の専門家ではなく、地域で生活する住民の一人であることから、多くの役割を担えるものではありません。

しかし、今日、人間関係の希薄化や単身世帯の増加などの社会の変化に伴い地域のつながりが弱くなっています。一方で、近年これまで災害が少ないと考えられていた地域でも大規模災害が発生しており、住民の防災に対する意識が高まるとともに、地域のつながりの必要性があらためて認識されています。防災を入口として、住民相互のつながりを強めることは、防災力を高めるだけでなく、地域の持つ力を高めることになり、平時からの地域づくりにも有意義といえます。

**4 基本的人権への理解を深めるとともに、人権啓発に関する活動に積極的に協力し、人権を尊重した地域づくりに取り組みます**

民生委員法第15条は、「民生委員は、その職務を遂行するに当っては、個人の人格を尊重し、その身上に関する秘密を守り、人種、信条、性別、社会的身分又は門地によって、差別的又は優先的な取扱をすることなく、且つ、その処理は、実情に即して合理的にこれを行わなければならない。」と定めています。民生委員は、地域の身近な相談相手として、常に住民の立場に立った相談・支援活動をするためには相談相手との信頼関係の構築が不可欠です。地域住民や相談者が直面する困りごとをより一層多角的に捉えるためにも、なるべく最新の人権課題を把握し、適切な配慮のもとでの委員活動を心掛ける必要があります。また、民児協という組織全体で人権研修や学習会を行うなど、民生委員同士で人権課題について学びあい、話しあう場を持つことも大切です。

**5 広く社会に対して民生委員・児童委員制度の周知を図り、民生委員・児童委員活動及び主任児童委員活動の正しい理解の浸透と一層の充実・発展に向けて取り組みます**

現在、民生委員・児童委員制度、またその活動はさまざまな課題に直面しています。短期間での退任者の増加やなり手不足、住民の認知度の低下等は、今後、民生委員・児童委員制度を維持していくうえでの大きな課題といえます。こうした課題を解決し、民生委員・児童委員制度をさらに発展させていくためにも、民児協の機能強化により一人ひとりの委員を支える体制を強化するとともに、地域の人々の理解を深めることで、なり手確保の「すそ野」を広げていく必要があります。

## ● 外部研修等報告（令和4年10月1日～令和5年3月31日）

研修名	開催日	開催地	参加人数 (浜松市)
第91回全国民生委員児童委員大会	10月19日～20日	名古屋市	16名
令和4年度全国民生委員指導者研修会 (第32回全国民生委員大学)	2月1日～3日	神奈川県三浦郡葉山町	2名
令和4年度全国児童委員・主任児童委員活動研修会 ※全民児連より提供されたDVDを視聴(市民児協主任児童委員部会として実施)	2月13日	福祉交流センター	18名
令和4年度全国民生委員・児童委員リーダー研修会 ※全民児連より提供されたDVDを視聴(市民児協リーダー研修会として実施)	2月28日	ホテルクラウンパレス浜松	52名

## ● 研修（市民児協主催等）実績（令和4年10月1日～令和5年3月31日）

研修名	開催日	会場	参加人数 (浜松市)
令和4年度中堅委員研修会	10月4日	サーラ音楽ホール	624名
令和4年度1期目研修会（改選後）	12月7日	浜北文化センター	616名
令和4年度理事研修会	1月24日	ホテルクラウンパレス浜松	15名
令和4年度第2回浜松市主任児童委員研修会（法定）	2月7日	浜北文化センター	77名



全国民生委員児童委員大会



中堅委員研修会



1期目研修会（改選後）



リーダー研修会

### 編集委員

- 野末あけみ（部会長）
- 高橋則男 ● 鈴木三雄 ● 宮澤俊英 ● 津川あけみ
- 遠山秀敏 ● 渥美由美子 ● 村瀬純子 ● 犬居和賀代(オブザーバー)